

子どもの夢を育てる学校

コロナ禍が去り、新しい時代が始まっています。子どもたちが生きる未来は、グローバル化が進み、AI技術なども劇的に進み、どのような生き方が待っているのか予測がつかない時代とされています。

未来の時代から来た「ドラえもん」に、昭和生まれのかつての子どもたちは、「あんなこといいな」と思うことで願いを伝えていました。平成生まれの今の子どもたちは、「夢をかなえて」と言葉にすることで願いを伝えていきます。これまでは「願い」をかなえるのは、頼りになる「ドラえもん」でした。令和の時代を生きるこれからの子どもたちはロボットに頼むのではなく、ロボットをプログラミングし使いこなすことで、自らの夢を自らの力で実現していく時代となるでしょう。

私たち大人も、子どもの学びに寄り添いながら、自らも学び、「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」など新しいしくみを活用しながら、新しい時代に適応していくことが求められています。小中がつながり、学校と家庭・地域とが手を取りあって、子どもの夢を育てる学校づくりを進めてまいります。



校長 高橋 恒雄

教育目標：やさしさいっぱい大麻泉の子 ～思いやりのある子ども・進んで考える子ども・明るく元気な子ども～

▶令和6度は以下の取組を“進化”させながら進めていきます

1. 令和5年度から、市内一斉で小中一貫教育が始まりました。“夢”の実現に向け、9年間の学びを効率的につなぐため、小中の教科書や教育課程の系統表を活用した系統的な指導に努めます。また、関係する3校（大麻東中、大麻東小と本校）で学習および生活のスタンダードを共有する等、中学校進学時の不安を軽減する取組も進めます。

◆小中一貫教育でめざす子ども像<大麻東中学校区共通>◆

- かんがえ、つたえあう子（知）知性を磨き 表現する子
- おもいやりのある子（心）・・優しい心で 協働できる子
- すこやかな子（体）・・・・自己実現に向けて 心身を鍛える子

2. 授業では、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的な学習を設定することで深い学びを導きます。教育活動全体では、体験的な活動を織り交ぜ、教科横断的に子どもたちに必要とされる資質・能力を育成します。
3. 学習内容が確実に定着するよう、整備されたツールを効果的に活用します。また、端末の持ち帰りの際は「ルール徹底」をはかり、適切に活用する態度を育成します。
4. 小中一貫教育や「えべつ型コミュニティ・スクール」等を機能させ、社会に開かれた教育課程の実現をめざします。夢を語りながら未来の社会を築いていく子どもたちのために、学校・保護者・地域が「あたたかく」つながりあうコミュニティづくりを進めます。



優しい心で協働し、学びの大切さを伝える